

交通安全情報

令和8年 9号

●県内の交通事故（令和8年8月末現在、概数）

	発生件数	死者数	負傷者数
発生状況	1,533	20	1,707
高齢者事故	694	11	339
前年同期比	-73	-6	-11



※高齢者事故発生件数は、高齢者が関連する全事故件数です。



自然災害における運転のリスク

自然災害時の運転には次のようなリスクがあります。

①冠水場所での立ち往生や水没

降雨により冠水した道路の走行は、エンジン停止や車両故障につながります。



②強風による横転・飛来物による被害



強風時は、飛来物によるフロントガラスの破損や車両が風にあおられて横転するおそれがあります。

③視界不良に伴う追突事故

豪雨時や水しぶきで視界が悪化すると、前車の急停止に気付くのが遅れて、追突事故につながるおそれがあります。



「大丈夫」という気持ちが一番危険です！

普段とは異なる事故が増加することを前提に、安全対策につとめましょう。

秋の全国交通安全運動

秋空にルールとマナーで鹿児島路



令和8年9月21日(月)から同年9月30日(水)

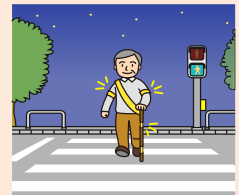
《3つの重点》

① 歩行者の安全確保と反射材用品の着用促進

夜間外出するときは、反射材用品LEDライト等を使用し、明るい目立つ色の服装を心掛けましょう。

歩行者も横断歩道を渡る、信号に従うなどといった交通ルールを守りましょう。

横断歩道は歩行者優先です。渡ろうとする歩行者がいる場合は必ず止まりましょう。



② 夕暮れ時の早めのライト点灯と飲酒運転や「ながらスマホ」の根絶

夕暮れ時は早めに前照灯を点灯し、原則上向きライトで走行しましょう。

交通ルールを守り、お互いに「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持ちましょう。



③ 自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底

自転車は車両です。自転車の交通ルールやマナーを守りましょう。

自転車利用者は、乗用車ヘルメットを着用し、自転車損害賠償保険等に参加しましょう。

